



SHONAN

湘南鎌倉総合病院広報誌

し ょ う な ん め ー る

Mail



Number
2018 June

135

▶ 特集 ◀

平成30年度 新任医師紹介

産婦人科日より

出生前診断について

第3回マタニティ坐禅開催

看護の日ってなに？

がんサロン

院内コンサート



撮影：ME室 種山 かよ子

新任医師のご紹介

雨に映える紫陽花の花も美しく、爽やかな
季節となりました。

当院に新しく赴任する医師を
ご紹介いたします。

新任医師のみなさんに
質問です！

■診療科 ■出身大学 ■出身地

- ①性格を一言で！
- ②医師を志した理由は？
- ③休日は何をしていますか？
- ④なぜ当病院を選んだのですか？



HIBIKI OSAMU

納 響

おさむ ひびき

■総合内科 ■順天堂大学 ■神奈川県出身

- ①明るい、割と元気、健康体です。
- ②サッカーで怪我をして整形外科のDr.にお世話になったこと。
- ③ランニング・サッカー・海へ行く・料理
- ④最先端で医療に取り組みたいと思い、厳しい環境に身をおこうと思ったからです。



GENPACHI TANAKA

田中 源八

たなか げんぱち

■総合内科 ■三重大学 ■大阪府出身

- ①天真爛漫
- ②人を助けたいと思ったため。
- ③サーフィン
- ④素晴らしい指導医と豊富な症例数



SHIZUKA IMAI

今井 静佳

いまい しずか

■総合内科 ■杏林大学 ■青森県出身

- ①楽観的
- ②小児喘息でお世話になった女医さんに憧れたため。
- ③カフェめぐり
- ④内科全般をしっかり勉強したいと思ったため。



KOUSUKE TANAKA

田中 幸介

たなか こうすけ

■総合内科 ■北海道大学 ■北海道出身

- ①真面目、やることをしっかりやる。
- ②幼少期に父が病気になったため。
- ③バスケ・ダイビング・スノーボード
- ④地域・専門含め幅広く研修できると感じたから。



SHINYA TAGUCHI

田口 慎也 たぐち しんや

■腎免疫血管内科 ■横浜市立大学 ■愛知県出身

- ①穏やかな方だと思いますが、仕事への熱意を持っています。
- ②勉強した分だけ患者さんに貢献できる、やりがいのある仕事だと思ったから。
- ③旅行・街歩き・テニス・映画鑑賞
- ④大変バイタリティーの高い病院であり、研修を積みたいと思ったからです。



YUKA MASHIMO

真下 優香 ましも ゆか

■循環器科 ■長崎大学 ■長崎県・名古屋出身

- ①負けず嫌い
- ②何かの医療系ドラマを見て、カッコいいと思ったから。
- ③買い物等
- ④雰囲気が良かったからです。



FUMINORI YAMAJI

山路 文範 やまじ ふみのり

■外科 ■琉球大学 ■岐阜県出身

- ①好奇心旺盛・ACTIVE
- ②救命病棟24時を観て。
- ③筋トレ・映画鑑賞
- ④大学の部活の先輩から教えて頂いて。



ATSUSHI KOGURE

小暮 敦史 こぐれ あつし

■外傷整形外科 ■東北大学 ■岩手県 花巻市出身

- ①興味を持つとのめりこみやすい。
- ②医師である父が、激務でもやりがいと責任感をもって働いてるのを見て憧れました。勧められはしませんでした。
- ③家族と近場にでかけることが多いです。鎌倉や湘南は海も山も近いですし、史跡も沢山あるので散策するのが楽しみです。
- ④重度四肢外傷治療の第一人者である土田芳彦先生に、技術・戦略・哲学を直接学びたいと考え、入職を希望しました。



KAYO YAMADA

山田 佳世 やまだ かよ

■外傷整形外科 ■秋田大学 ■山形県出身

- ①典型的な東北人
- ②家族が手術を受けたこと
- ③楽器の練習をしたりしています。
- ④外傷を勉強したくて決めさせて頂きました。よろしくお願いします。



KOJI SUZUKI

鈴木 幸二 すずき こうじ

■脳神経外科 ■信州大学 ■静岡県出身

- ①一つ一つコツコツと。
- ②子供の時に診て頂いた小児科の先生の優しさ。
- ③運動してよく寝る。
- ④神経外科として、研鑽を積むため。



AYUMI OGASAWARA

小笠原 あゆみ おがさわら あゆみ

■産婦人科 ■東京女子医科大学 ■東京都出身

- ①食欲旺盛・アクティブ
- ②様々な人と関わる仕事をしたかったから。
- ③ハイキング・温泉・食めぐり
- ④海と山が近いので。お寺巡りもしてみたいです。よろしくお願いします。



NOBUKO KATAYAMA

片山 暢子 かたやま のぶこ

■小児科 ■筑波大学 ■茨城県出身

- ①性格ではありませんが、心も体もいつも元気です。
- ②人と接する仕事。特に子供に接する仕事をしたいと相談したところ、高校の恩師が勧めてくれたのがきっかけです。
- ③子供とあそぶ、家のことをする...
- ④病院自体の力強さと自分のやりたい診療が合いそうだったので決めました。



SHINJIRO ASO

麻生 真二郎 あそう しんじろう

■放射線科 ■富山大学 ■富山県出身

- ①やさしい
- ②父が昼夜なく働く医師で、それを見て育ったため。
- ③妻と買い物
- ④病院の理念



KENTARO MATSUI

松井 健太郎 まつい けんたろう

■放射線科 ■三重大学 ■神奈川県出身

- ①凝り性です。
- ②困っている人、悩みを抱えている人の助けになりたいと思いました。
- ③子供と遊ぶ、家事（洗濯物干しなど）あとはチェロを弾いています。
- ④様々な疾患の患者さんを診ることができる総合病院だから。



REI HINOURA

日野浦 礼 ひのう られい

■心臓血管外科 ■日本大学 ■東京都出身

- ①大雑把
- ②ケガの際に誤診され、治療が遅れた。治せる病気をきちんと治したい、救える命をきちんと救いたいと思ったことです。
- ③子供と遊んでいます。
- ④質・量ともに最高の手術を行っている環境で学ぶため。



YOSHIHIRO NODA

野田 良博 のだ よしひろ

■形成外科 ■札幌医科大学 ■横浜市出身

- ①気さくな性格
- ②診療も研究もできる
- ③食べ歩き
- ④医局派遣



TOMIO INOUE

井上 登美夫 いのうえ とみお

■先端医療センター ■群馬大学 ■埼玉県出身

- ①前向き思考
- ②高校時代、社会に貢献できる仕事に就きたいと考えたこと。
- ③仕事を離れゆっくりとすごす。
- ④やりがいを感じたから。



DAISUKE YAMAMOTO

山本 大介 やまもと だいすけ

■神経内科 ■順天堂大学 ■愛知県出身

- ①学習回路を開き、より成長しようと常に考えます。
- ②誰かの喜ぶことや嬉しいことを仕事に選びました。
- ③散歩が趣味です。
- ④新しいことと変化と成長を求めて、転職してきました。



KAZUKO HOTTA

堀田 和子 ほった かずこ

■脳神経外科 ■鹿児島大学 ■香川県出身

- ①厳しいとよく言われます。
- ②医師という仕事に憧れを感じたから。
- ③バードウォッチング
- ④初期研修医時代をここで経験したため。



KAZUKI TAKINO

滝野 和希 たきの かずき

■放射線科 ■群馬大学 ■東京都出身

- ①のんびり
- ②専門性の高い職業で社会に貢献できる仕事がしたかったから。
- ③家族で散歩・買い物。
- ④症例数が多く、緊急照射を含め、様々な症例が経験できるため。



NOBORU OYA

大谷 昇 おおや のぼる

■外傷整形外科 ■群馬大学 ■群馬県出身

- ①ほどほどに明るい
- ②スポーツが好きで整形外科医になろうと思いました。
- ③のんびりと過ごします。
- ④日本一の外傷センターで働きたかったため。

出生前診断について

現在、母体保護法なる法律の下、多くの人たちが『経済的な理由』または『身体的な理由』などによって中絶手術を受けています。そして出生前検査がその出産後に生かされるためのものではなく、今や産むか、産まないかの選択の根拠となっているのが実情です。



産婦人科部長
副院長 井上 裕美

先月 100 歳になった母は私を東京の自宅で出産した。当時 30 歳の母が、戦後 3 年目のまだまだ食糧難の頃に、姉に続いて 2 人目を産む覚悟たるやどのようなものだったのだろうか。そうしてこの世に出た私がもう 70 歳になろうとしている。母の目の病気がきっかけで一緒に湘南で住むことになってから、今日に至るまで、まるで私が幼少時の頃はこうだったのかもしれないと思うような、親子が逆転したような生活が続いている。朝、母を起こして、洗面・トイレそして食事から、夜、母が寝るまで。今言う『老老介護』とは私たち母子のことを言うのだろう。

私が産婦人科医であるからか、母がまだしっかり記憶をたどることができた数年前まで、時々私たち子供の出産や育児の話を聞かせてくれた。食べ物十分でなく、おっぱいもいっぱいできなかったことなどその当時の経済状況からすると、お産をすることや育てることは今とは比べようもなく大変だったに違いない。だから母体保護法（当時は優生保護法）第 14 条の『経済的な理由』からの中絶が行われていたことなど、十分推測に値するのだろう。

『命』とは既に母の体内にある時から存在することになる。母子関係はお腹の中にいる頃から育まれると言う...

母が私を妊娠している途中で、もし産まない選択を選んでいたなら、妻とも一緒になれず、子供も無く、現在の医療にたずさわる私は存在しない。こう考えれば『命』とは既に母の体内にある時から存在することになる。母子関係はお腹の中にいる頃から育まれると言う。シャスティン・ウヴ

ネース・モベリ教授が言うように妊娠中、癒しや愛情のホルモンと呼ばれているオキシトシンが上昇するのは多いにこれと関係するのだろう。

現在、母体保護法なる法律の下、多くの人たちが『経済的な理由』または『身体的な理由』などによって中絶手術を受けている。その人たちの中に出生前検査で染色体異常を指摘された人たちがいる。

30 歳を過ぎた妊婦が、出生前検査で染色体異常が指摘された時、いずれかの理由をつけて中絶を行っていると言われている。最近の新型出生前検査 NIPT の臨床研究は出生前診断で陽性（異常が見つかった）だった時の妊婦の 98% が人工妊娠中絶を選んだ（選ばざるを得なかった？）と報告していることからわかるように、出生前検査はその検査がその出産後に生かされるためのものではなく、今や産むか、産まないかの選択の根拠となっているのだ。当科の市田知之医長がロンドン留学から帰って胎児超音波検査と母体の採血を組み合わせたコンバインド検査（染色体検査だけでなく解剖学的異常も診断する）が始まり、そして彼の留学報告会をかねた講演会、「Development of prenatal care 人間味のある出生前診断を目指して」が先日当院の講堂で行われた。講演会ではこれから妊娠する人たち、医療従事者、そしてジャーナリストたちが集まり、実りある議論が行われた。そこでの演者の一人の話は我々の胸を打つものだった。彼女は妊娠中に赤ちゃんの異常を指摘され、当惑しながら、生後 1 年も生きられないかもしれない我が子を夫婦で受け入れることにした。しかし帝王切開で産んだ我が子と一緒に過ごせたこの世での時間は、わずか 2 時間だった。彼女たちを産むまで苦しめたのは、医療者から繰り返されるその子を本当に受け入れるのかの確認の言葉だったと言う。

正確な出生前診断は産まない選択肢を減らしてくれるだろうと。

産める選択ができたのに、産まない選択をして後悔をしていた方の話を聞くことがあった。いつの時代からか我々は「命のセレクション」を始めた。出生前診断が出生後の子育てに役に立つという考え方どころか、産まない選択の情報としてばかりしか使われないのであればそれは辛い。市田医長はこうも話していた、『正確な出生前診断は産まない選択肢を減らしてくれるだろうと。』私たちも、信じたい。その診断がどのようなものであれ、命を大切にしたい。その診断を意味のあるものに導いてくれると思う。

湘南鎌倉総合病院の産科スタッフは、従来より女性の力と赤ちゃんの力を最大限に引き出すことを目指しサポートしています。

その中で最近私たちは、自分の内部に意識を向けゆったりとした呼吸でこころを整える坐禅に着目しています。静かに自分と向き合う時間を、鎌倉という歴史深い地で、一緒にすわって体験してみませんか？ 第3回目の今回も、建長寺ゆかりのけんちん汁を含む精進料理の昼食も頂く予定です。

対 象：体調のよい妊婦さん(14週以降) 費用：3,620 円

ご家族も一緒に参加頂けます。未就学児は無料ですが、お子様の昼食はご持参ください。
大人：3,620 円 小・中学生：2,620 円 ※駐車料金は自己負担となります。

予 約：湘南鎌倉総合病院 お産センター 0467-46-1717(代表番号)

予約制となっておりますので参加希望の方は9時～17時に上記番号から産科外来・お産センター宛にご連絡をお願い致します。お電話の際、診察券番号、お名前、ご連絡先、食物アレルギーのある方は詳細をお伝えください。

締切：6月5日(火)12時まで 当日はゆったりとした服装でお越しください。これ以降のキャンセルはキャンセル料を頂きます。建長寺までは北鎌倉駅から徒歩20分ほどです。公共交通機関をご利用ください。

日 時：6月8日(金) 10:00～13:30

内 容：坐禅や法話、境内散策、精進料理などを予定

会 場：北鎌倉 建長寺

集合場所：9時45分に建長寺正門前の駐車場



参加者の方は建長寺正門前の駐車場下の赤丸に集合をお願いします。皆さんと一緒に入門していきます。



看護の日ってなに？ 看護部 佐藤 友子副主任

「看護の心・ケアの心・助け合いの心」を老若男女問わず誰もが育むきっかけとなるように1990年、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで5月12日に制定されました。



当院では5月12日に看護の日のイベントを1階エントランスで行い、430名の方に参加して頂きました。毎年恒例の「看護師さんになってみようコーナー」では、子どもたちの可愛い白衣姿にお父さん・お母さんのみでなくスタッフたちにもっこり。

「体験コーナー」では妊婦・高齢者の疑似体験を実施しました。短時間でも妊婦・高齢者の体の変化を感じ取ってもらい、優しく接してもらえる機会になってくれたらと思います。また、昨年から開催している「親子のスキンケア教室」では、きめ細やかな泡作りの体験を行いました。小さなお子さんだけでなくお母さ

んの肌にも優しいということで、親子で楽しく参加してもらいました。

「測定コーナー」では血圧・BMIの測定を実施しました。受診の付き添いで来院されていた方も測定されていました。健康に自信のある方でも、普段の生活を振り返るきっかけになったのでは？これを機会に医療者を目指してくれる子どもがいたら感激です。



好評!!

がんサロン

2階21番 オンコロジーセンター待合室
(定例)第3土曜日(祝日除く)

〈対象〉
患者さんとそのご家族
・参加費無料・事前申込不要
・自由参加

6/16(土) 14~16時
〈最初の30分に〉
医療相談室 課長補佐
医療ソーシャルワーカー 笹本 枝里
によるレクチャー付き
「障害年金」
～障害年金ってなに? どんな人が対象になるの?～

7/21(土) 14~16時
〈最初の30分に〉
乳がん看護 認定看護師 布谷 玲子
によるレクチャー付き
「脱毛時のケアについて」
～抗がん剤による脱毛のメカニズムとアフターケアについて～



定期開催 当院1階エントランスにて開催するコンサートです。どなた様もご自由にご来場ください。

湘南鎌倉総合病院 院内コンサート

4月21日、初夏を思わせる爽やかな土曜日の午後、鎌倉市立御成中学校・吹奏楽部21名の皆様をお迎えし、第6回院内コンサートを開催しました。元気いっぱいのミッキーマウスマーチで始まり、津軽海峡冬景色やテレビ時代劇メドレー、アンコールの恋ダンスまで、なじみ深い曲が続き、お越し頂いた皆様の笑顔溢れるひと時となりました。

今後もご入院、ご来院の皆様、近隣の皆様に楽しんで頂けるコンサートを企画してまいります。



7月14日(土) 15:30~16:00
鎌倉吹奏楽団 Music Farm

■ふるさと ■サマー ■童謡メドレー
■美女と野獣 ほか

(演奏曲目は変更になる場合がございます)

8月8日(水) 16:00~16:30
村田 望 (ソプラノ)・中澤 美紀 (ピアノ)

■アヴェ・マリア (カッチーニ) ■小さな空、翼 (武満 徹)
■母の教え給いし歌 (ドヴォルザーク) ■虹のかなたに
■スタンドアロン ほか

(演奏曲目は変更になる場合がございます)

医療法人 沖縄徳洲会

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370番1
TEL 0467-46-1717(代表) FAX:0467-45-0190
ホームページアドレス: <http://www.shonankamakura.or.jp>
(直通) 健康管理センター:0467-44-1454 人工関節センター:0467-46-7172
しょうなんメール 編集・発行:湘南鎌倉総合病院 年報広報誌委員会



SHONAN KAMAKURA
GENERAL HOSPITAL

